

第23回 デジタルアーカイブ研究会

研究会論文(レジュメ)集

日 時 : 2024年11月23日(土)13:00~14:30

開催方法 : オンライン(Zoom)

主 催 : デジタルアーカイブ研究会

日本教育情報学会デジタルアーカイブ研究会

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所

特定非営利活動法人日本デジタルアーキビスト資格認定機構

—第 23 回 デジタルアーカイブ研究会—

日 時 2024 年 11 月 23 日 (土) 13 : 00 ~ 14 : 30

開催方法 オンライン (Zoom を使用します)

コーディネーター : 井上 透、前川 道博

プログラム

※発表時間は 10 分、質疑応答は 5 分です。

1. 新制津田塾大学の初代学長の星野あいを通じた女子大学の今日的意義の一考察
(13 : 00 ~ 13 : 15)
中村 愛子 (岐阜女子大学大学院 文化創造学研究科)
2. 国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会の展覧会のデジタルアーカイブの有用性について
~教育機関での実践をとおして~
(13 : 15 ~ 13 : 30)
蔵座^{そうざ} 江美 (一般社団法人金陽会)
3. 絵はがきデジタルアーカイブの標準化
(13 : 30 ~ 13 : 45)
朝井 佐智子 (岐阜女子大学大学院 文化創造学研究科)
4. 「近世怪談アーカイブ」の構築と利活用について
(13 : 45 ~ 14 : 00)
森 翔大 (名古屋大学大学院 人文学研究科)
5. 出土遺物の 3 次元ドキュメンテーション
(14 : 00 ~ 14 : 15)
江添 誠 (神奈川大学 国際日本学部)
6. メタバース絵本の構築と効果
(14 : 15 ~ 14 : 30)
櫛^{いちき} 彩見 (岐阜女子大学)

デジタルアーカイブ研究会 研究会実施事務局 (岐阜女子大学)

〒500-8813 岐阜市明德町 10 番地 岐阜女子大学文化情報研究センター内

電話 : 058-267-5301 (日本デジタルアーキビスト資格認定機構)

第 23 回デジタルアーカイブ研究会 発表概要

1.	<p>新制津田塾大学の初代学長の星野あいを通じた女子大学の今日的意義の一考察</p> <p style="text-align: right;">(13:00~13:15)</p> <p style="text-align: center;">中村 愛子 (岐阜女子大学大学院 文化創造学研究所)</p> <p>星野あい(1884年~1972年)は津田梅子(1864年~1929年)の逝去後、後を託されて「女子英学塾」の2代目学長となり、戦後、新制「津田塾大学」への大学昇格を果たしたうえで初代学長となり、1952年に退任するまで23年間学長を勤めた。</p> <p>本論文では彼女の功績を振り返り、女子英学塾や米国の女子大学や大学院で受けた教育をもとに、戦後日本の新憲法のもとで「女子学生」に個人として与えられた権利や能力を自覚させ、卒業後に社会人として満足度の高い人生を生きていくために①一般教育、専門教育(教員免許)と②女性の専門教員による健康教育を行い③平和な文化国家並びに社会を形成する責任を担う女性(all-round women)を育成し、④同窓会を通じて生涯大学とかかわるネットワークづくりを目指したことを考察する。</p>
2.	<p>国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会の展覧会のデジタルアーカイブの有用性について</p> <p>～教育機関での実践をとおして～</p> <p style="text-align: right;">(13:15~13:30)</p> <p style="text-align: center;">藏座 江美 (一般社団法人金陽会)</p> <p>国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会には900点を超える作品が残されている。入所者(ハンセン病患者)による作品群であることから、作品そのものをデジタルアーカイブして公開することは難しい状況である。筆者は2016年からそれらの作品調査ならびに展覧会を全国各地で行ってきた。金陽会作品群のデジタルアーカイブ公開は難しくても、これまで開催してきた展覧会をデジタルアーカイブすることで、展覧会という「場」の持つ可能性、特に教育現場での有用性を提示する。</p>
3.	<p>絵はがきデジタルアーカイブの標準化</p> <p style="text-align: right;">(13:30~13:45)</p> <p style="text-align: center;">朝井 佐智子 (岐阜女子大学大学院 文化創造学研究所)</p> <p>本研究では、絵はがきのデジタルアーカイブ化やオープンデータ化がどのような現状であるか調査し、デジタル化の進展を妨げる要因を所蔵機関、絵はがきそのものの自体の問題点を明らかにし、それを踏まえた上で、絵はがきをデジタル素材のアーカイブとして利用可能にするためにどのようなメタデータが必要であるか考察した。</p>
4.	<p>「近世怪談アーカイブ」の構築と利活用について</p> <p style="text-align: right;">(13:45~14:00)</p> <p style="text-align: center;">森 翔大 (名古屋大学大学院 人文学研究所)</p> <p>江戸時代には多くの怪談小説が出版されており、怪談に関する研究が様々に進められているものの、怪談の情報はデータベース等で体系的に整理されていない。そこでこの度、長野大学の前川道博氏にご協力いただき、怪談の情報をメタデータとして整理した「近世怪談アーカイブ」を構築した。本発表では、このデジタルアーカイブを紹介するとともに、怪談研究に資する点や教育・学習への利用など、利活用の可能性を検討する。</p>
5.	<p>出土遺物の3次元ドキュメンテーション</p> <p style="text-align: right;">(14:00~14:15)</p> <p style="text-align: center;">江添 誠 (神奈川大学 国際日本学部)</p> <p>考古学発掘調査において出土した土器片やランプ片などの遺物のデータは、従来の調査では多くの場合、手で実測を行い、平面図と断面図を作成して、写真とともに2次元のデータで発掘報告書に記載されている。しかしながら、実際の出土遺物を観察した経験のない人には報告書の遺物データから正確に実際の遺物を把握することは不可能と言っているほど困難なことである。本発表ではこのような状況を解決する方法として、出土遺物の3次元ドキュメンテーションの有用性を検討してみたい。</p>
6.	<p>メタバース絵本の構築と効果</p> <p style="text-align: right;">(14:15~14:30)</p> <p style="text-align: center;">櫛 彩見 (岐阜女子大学)</p> <p>絵本は幼児の情操教育の素材として用いられるが、大人が読むことで感情の生起や自分自身に向き合う機会になるなど効果があると言われている。一方でデジタル技術「メタバース」は五感を使った体験であることから、高い共感や没入感が得られやすい。絵本とメタバースの共通する部分は多く、メタバースで絵本を表現することで絵本の効果を高めることができると考え、メタバース絵本を作成して効果を明らかにした。</p>

※発表時間は10分、質疑応答は5分です。

目 次

- ・ 新制津田塾大学の初代学長の星野あいを通じた女子大学の今日的意義の一考察
中村 愛子（岐阜女子大学大学院 文化創造学研究科） …… 5
- ・ 国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会の展覧会のデジタルアーカイブの有用性について
～教育機関での実践をとおして～
藏座 江美（一般社団法人金陽会） …… 7
- ・ 絵はがきデジタルアーカイブの標準化
朝井 佐智子（岐阜女子大学大学院 文化創造学研究科） …… 11
- ・ 「近世怪談アーカイブ」の構築と利活用について
森 翔大（名古屋大学大学院 人文学研究科） …… 13
- ・ 出土遺物の3次元ドキュメンテーション
江添 誠（神奈川大学 国際日本学部） …… 17
- ・ メタバース絵本の構築と効果
櫛 彩見（岐阜女子大学）、三島 里恋（岐阜女子大学） …… 19

考察する。

・星野あいには彼女自身が津田塾大学の卒業生でもあり、日本の戦後の女子高等教育の基盤を形作ったリーダーとしてももっと知られてよい存在である。彼女の功績を伝え、情報を一元化したデジタルアーカイブを作成する。

4 論文の構成

第1章 緒言

社会的背景・動機等・目的(仮説)
現代の女子教育の課題
女子教育の原点を探ることで今日の意義を考察する。

第2章 星野あいとその業績

星野あいの生涯を探る
星野あいの生きていた時代背景
星野あいの業績とその特色

第3章 星野あいと新制津田塾大学

新制津田塾大学の建学の精神
津田梅子と星野あい
女子教育の社会的意義
新制津田塾大学における星野あいの業績

第4章 星野あいと女子教育

女子教育の歴史
星野あいの女子教育に関する想い
女子教育の今後

第5章 星野あいのデジタルアーカイブ

Webの作成
動画の作成

第6章 結言

5 研究手法

先行研究や津田塾大学の大学史資料、同窓会資料、新聞記事や星野あい自身の自伝、執筆原稿をもとに論文目的に記載した項目を検証する。

6. 参考文献

天野正子編著、「女子高等教育の座標」, 垣内出版, 1986年

石井留奈「戦後日本の女子高等教育改革における女性リーダーの役割—星野あいを中心として—」, 桜美林大学『国際学レビュー』第12号, 2000年, P67-P83。

上村千賀子「占領期日本における女子高等教育制度の改革とアメリカの女子教育者たち」
『アメリカ研究』第29号, 1995年。

上村千賀子『女性解放をめぐる占領政策』勁草書房, 2007年。

関野豊三「戦後日本の女子大学の成立: ホームズ女子の助言指導を中心として」『芦屋大学創立十周年記念論文集』, 1973年, P53-P76。

『津田英学塾四十年史』津田英学塾 (1941年)

『津田塾六十年史』津田塾大学 (1960年)

津田塾理科の歴史を記録する会『女性の自立と科学教育』(ドメス出版, 1987年)

津田塾会『津田塾会四十年の歩み』(朝日出版, 1988年)

『津田塾大学 津田梅子と塾の90年』津田塾大学 (1990年)

津田塾理科・数学科50年史編集委員会『津田塾理科・数学科50年史』(1996年)

『津田塾大学100年史』津田塾大学100年史編纂委員会編 津田塾大学 (2003年)

・津田塾同窓会『会報 創立五十周年記念号』1956年5月。

・津田塾同窓会『会報 津田梅子先生生誕百年記念号 1964年。』

・村田鈴子『わが国女子高等教育成立過程の研究』株式会社風間書房, 1980年。

・湯川次義「新制女子大学の設立課程に関する一考察—神戸女学院大学の事例を中心に—」, 早稲田大学 教育・総合科学学術院 学術研究(人文科学・社会科学編)第64号 P39-55, 2016年3月。

国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会の展覧会の デジタルアーカイブの有用性について ～教育機関での実践をとおして～

蔵座 江美*¹

<概要>

国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会には900点を超える作品が残されている。入所者（ハンセン病患者）による作品群であることから、作品そのものをデジタルアーカイブして公開することは難しい状況である。筆者は2016年から金陽会の作品調査ならびに展覧会を全国各地で行ってきた。金陽会の作品群のデジタルアーカイブ公開は難しくても、これまで開催してきた金陽会の展覧会情報をデジタルアーカイブすることで金陽会の存在を残すことができ、あわせて展覧会という「場」の持つ可能性、特に教育現場での有用性を考察する。

<キーワード> 展覧会, 教育機関, 絵画クラブ金陽会, ハンセン病問題, デジタルアーカイブ

1. 研究目的

国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会は1953年に発足した。現在、95歳になる入所者がひとりで創作活動を続けおり、全国に13ヶ所ある療養所の中で唯一残っている絵画クラブである。筆者は2002年に金陽会に出会い、美術館勤務時に展覧会を開催して以降、関係が続いている。

2016年からは本格的に作品調査を開始したが、その作品数は900点を超える。作品調査開始時はこれらをデジタルアーカイブ化することを想定していたが、残されている作品の作者のほとんどが他界されており、遺族との連絡が取りづらく公開については課題が多い。

作品調査と並行して各地で展覧会を開催してきた経緯から、作品群は厳しくとも展覧会の開催手順やノウハウなどの情報をデジタルアーカイブ化できないかという思いに至った。

これまで、行政機関や地域の寺院など様々な場所で展覧会を開催してきた。なかでも教育機関（小中学校、大学）での開催時、児童による自発的に始まった金陽会の作品を模写するという行為や、作品に向き合う児童の様子を見た先生方の反応からは、今までにない「展覧会という場」の豊かさを感じた。

まずは、ハンセン病患者による絵画作品を取り扱った、教育機関での展覧会情報をデジタルアーカイブすることで、「展覧会という場」の有用性を提示したい。

2. 研究方法と内容

(1) 国立療養所は国立ハンセン病療養所と表記されることがあるが、ハンセン病は完治して

いるため、その名称で呼んでほしくないという入所者もおり、名称ひとつとってもデリケートな問題を含んでいる。

まずはハンセン病の歴史（らい予防法などの法律の経緯、国立療養所の設立など）から、入所者の園内での生活、菊池恵楓園絵画クラブ発足の経緯、創作活動が入所者にもたらしてきたものについて考察する。

(2) 全国13ヶ所ある国立療養所の中で入所者数が最も少ない奄美和光園に2020年に創設された交流会館と、2002年から市民参加型の聴き取り調査を行い、その成果を元につくられた交流会館を持つ沖縄愛楽園で園外での展覧会実施状況の聴き取り調査を行った。その内容を元に、絵画クラブ金陽会の展覧会の特異性を考察する。

(3) 絵画クラブ金陽会の展覧会に至るまでの経緯（作品調査含む）、展覧会までの具体的な流れなど、展覧会業務に関わったことがない人にも理解しやすいチャートを作成する。

(4) 2016年から2024年までに開催した展覧会38本の中から、教育機関（小学校、中学校、大学）での展覧会7本のアンケートを元に、児童、生徒、保護者、先生の展覧会の前と後での心の変化の分析する。

以前に実施したアンケート調査の異なる用途での活用については、今後、各機関に確認を取る必要がある。

(5) 筆者のギャラリートークを元にした作品解説文を、作品とともに設置しているが、その作品解説文（金陽会メンバーのオーラルヒストリーを含む）の鑑賞者へもたらす影響を美術館在職中に作成したキャプションと比較分析し、

*¹Emi,Zouza : Curator,一般社団法人金陽会理事

設置の可否を考察する。

(6) 教育機関（小学校）での開催時に自発的に模写を始めた児童とのやりとりや、それを見た先生方の変化を記したメモを元に「展覧会という場」の有用性を考察する。

3. 過去の展覧会の実際

(1) 合志市立楓の森小学校・中学校での展覧会（開催日 初回 2021. 2. 21-25）

過去3回展覧会を開催している。作品点数は、22点、23点、24点である。初回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により恵楓園の見学が中止になっていたため、園内マップとともに園内を描いている作品を中心に選定した。2回目は園外でも絵を描かれていたことがわかる阿蘇などの風景を描かれている作品、3回目は児童からのリクエストがあったため、花の作品を中心に選定した。

菊池恵楓園の隣という立地条件を生かして毎年の開催が可能であり、通常の他の展覧会では選定できない作品も紹介することができる環境にある。

初年度は、絵画クラブ金陽会のことを知らない先生方のため、事前に金陽会についてのレクチャーをオンラインで実施した。ほとんどの先生が初めて知った、実物を観るのが楽しみだという反応だった。なかには、筆者が最初に関わった美術館での展覧会を観たことがありますという先生からの感想も得た。



図1 合志市立楓の森小学校・中学校の展示の様子

鑑賞者（児童・生徒）の反応は、「油絵を観たのが初めて。これは絵具ですか？」といった素材についての質問が想像以上に多かった。隔離政策や堕胎などをテーマにした作品については刺激が強すぎるのではないかという不安もあったが、児童の質問に答えていると他の見

童も周りに集まってきて静かに聞き入るといった反応には驚かされた。

成果は、小学校で初めて開催する展覧会ということもあり、学校側も筆者も手探り状態だったことは否めず、時間配分が課題となった。対象が小学生1年生から中学生2年生（新設校だったため、高校受験を鑑み中3はいなかった）と幅広く、個々の成長に合わせた説明時の言葉選び（小学生1年生に「堕胎」という言葉は理解が難しいなど）には苦労した。

児童・生徒の感想からは、「絵に想いが込められていることが伝わってきた」、「苦しかった時のことを書いていやじゃないのかなあ」といった作者に寄り添うものも多く見られ、自分の気持ちの揺れや気づきを言語化できていることに驚く先生もおられ、先生方にも気づきが見られた。

(2) 筑紫野市立二日市北小学校での展覧会（開催日2023. 6. 22-26）

作品は23点展示した。ハンセン病や恵楓園を知らない児童がほとんどであることを考慮し、園内マップと園内を描かれている作品、作品の大きさも実感してほしいと考え、80号サイズの作品を選定した。また、作品をずっと展示できる教室が、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、使用頻度が少なくなっている音楽室となったため、楽器をモチーフにした作品も選定した。

また事前に先生方には展示作業が終わった放課後の会場内で、恵楓園や金陽会についてギャラリートークを実施した。終了後は低学年の先生方から鑑賞時の注意事項についての相談があり、走らないことや触らないことなど、最低限守ってもらうことを確認した。



図2 筑紫野市立二日市北小学校 鑑賞の様子

教育機関での鑑賞の際には、前職場の美術館で学芸員実習のカリキュラムとして恵楓園見学を実施してきた際の学生の反応から、事前情報が鑑賞の妨げになることを経験していたため、事前にハンセン病や療養所についての情報を極力児童に伝えないでほしいと伝え、了承してもらっている。

鑑賞者（児童）の反応は、楓の森小学校の児童とほぼ同じで、素材とサイズ、点数等に大きな衝撃を受けていた。児童の様々な疑問にはできるかぎり個別に対応した。成果は、事前学習が行われた1クラスのみであり、複数の児童に委縮した様子が見られ、事前学習はない方が好ましいということがあらためて確認できた。

また、休み時間や放課後に観に来る児童が多く、何度も観に来ることができるという学校内での展示のメリットが感じられた。

(3) 筑前町立三輪小学校

(開催日2024. 6. 10-14)

二日市北小学校と同じく作品数は23点、児童の反応を比較するためにはほぼ同じ作品の展示とした。三輪小学校では事前に先生方へのレクチャーが実施できなかったが、実施の有無による比較検討を試みる機会となった。



図3 筑前町立三輪小学校 鑑賞の様子

鑑賞者（児童）の反応は、過去3校の小学校と同様、素材とサイズ、点数に大きな衝撃を受けていた。また、楓の森小学校・中学校では見られなかった自発的な模写が二日市北小学校同様に始まったことが興味深かった。成果は、学校側から、平日のみ、事前予約を条件に一般来場者に許可が下りたため、小学校での取り組みを一般来場者が目にする事ができ、学校で開催することへの好評を得たことが挙げられる。

(4) 九州ルーテル学院大学での展覧会

(開催日2021. 11. 1-5)

教育機関での初めての開催となった。九州ルーテル学院大学の創設者である、マーサ・B・エカード氏は、菊池恵楓園での活動をはじめ、ハンセン病患者との関わりを永きにわたるライフワークとしてきたため、歴史を感じさせる開催となった。



図4 九州ルーテル学院大学 展示の様子

鑑賞者の反応は、地元での開催であり、小中学生の時に恵楓園の名称を聞いたことや、園内に見学に行ったことはあるが、このような作品があることは初めて知ったという感想を得た。成果としては、学生だけでなく近隣住民にも公開されたため、九州ルーテル学院大学がハンセン病や恵楓園と縁があったことをあらためて周知するきっかけになった。

(5) 熊本大学医学部図書館での展覧会

(開催日2024. 5. 9-15)

医学を志す学生たちに、金陽会の作品をとおして、患者に寄り添う気持ちを持ってもらいたいという趣旨で開催した。医学部1年生と4年生には授業の一環としてレクチャーも実施した。



図5 熊大医学部図書館 展示の様子

鑑賞者（学生）の反応は、絵画の展覧会に足

を運んだことがある学生が予想以上に少なく、新鮮に作品を観ている光景が印象的だった。県外からの学生も多く、恵楓園の存在を知るきっかけになった。成果は、現在、皮膚病の一疾患としてその名称を聞くことはあっても、新規患者がほとんどいないことから、ハンセン病そのものや背景に初めて触れる学生が多かった。他学部の先生方も興味を持って来場され、今回は医学部以外でも展覧会を開催したいという感想が得られた。

4. 結果と考察

ハンセン病国家賠償請求訴訟(2001)、ハンセン病家族国家賠償請求訴訟(2019)の二度の勝訴判決により、ハンセン病問題は終わったことと認識され、風化が進んでいると言っても過言ではない。全国の療養所では遺族などの引き取り手がいない場合焼却処分されてきた絵画作品を後世に残したいという一心で作品調査を行い展覧会を開催してきた。

作品調査の段階から多くの関係者の方々の厚意や協力があり、作品の存在を展覧会を通して全国各地の人々に知ってもらうことができ、さらに恵楓園内に収蔵庫建設、NHK日曜美術館放映、西日本文化賞受賞など、思いもよらない結果を引き起こしてきた。

特に教育機関での展覧会実施の反響は大きく、ハンセン病問題や人権啓発活動とされていたものが、美術教育の側面も持つという認識を得られていることが、継続して開催したいという主催者の意向からもうかがえる。

同時に、小学校の図画工作時間の減少や、写生大会の廃止など、小学校の美術教育の状況を考えると、絵画作品を鑑賞するという「展覧会という場」の提供が、教育機関で困難なことがあらためて分かった。子どもたちの、作品の内容に対してだけではない、キャンバスや油絵具などの素材に対する素直な反応からは日頃の科目授業では得られない豊かな時間であったことが伝わってきた。

一方で、多忙である小学校の先生方に、展覧会業務の内容をわかりやすく提示することが、継続開催してもらうためには不可欠である。

絵画の展覧会に限らず、パフォーマンスやコンサートなどの「場」を教育機関に提供することを考えている人たちに、金陽会の展覧会のアーカイブが一助になることも期待したい。

5. 今後の課題

作品調査開始時からの課題として、当事者(国立療養所や入所者自治会)が展覧会業務を行う、人的、技術的含む余力がなく、部外者の助けが必要なことが挙げられる。そのため、ボランティア活動の域を脱することが難しく、筆者が金陽会メンバーのご存命の時から関わりがあり、聞き取り調査などの強烈な経験がこの活動を下支えしていることは否めない。

現状は依頼されてきたことに応えられているものの、継続して活動していくために、これまでの活動記録をアーカイブ化することで、展覧会を開催することの有用性を知ってもらう必要がある。

園内の交流会館等で展覧会を開催していくことも選択肢のひとつではあるが、これまでの経験上、より多くの人に関わって、観てもらうためには園外への展開は重要だと思われる。同時に、アーカイブ方法や公開場所については、活動母体、マンパワーが脆弱なだけに大きな課題である。

現在の方法で金陽会の展覧会開催を継続するには限界があり、今後、国や行政への働きかけは必須であろう。これまでの経緯や課題を理解してもらうためにも、教育機関だけでなくこれまで開催してきた展覧会のアーカイブ化も進めていきたい。

主要参考文献

- (1) 編集委員会編集(2024)『菊池野』通巻第820号 国立療養所菊池恵楓園入所者自治会
- (2) 沖縄愛楽園交流会館(2023)『感想文集』第4号 沖縄愛楽園自治会
- (3) 熊日出版編集(2021)『史料で読み直す菊池恵楓園、ハンセン病問題の歴史』国立療養所菊池恵楓園入所者自治会
- (4) 工藤昌敏・杉野芳武・中村盛彦・杉野桂子・浦田稔・遠藤邦江・太田明・稲葉正彦編集(2006)『壁をこえて—自治会八十年の軌跡』国立療養所菊池恵楓園入所者自治会
- (5) 熊本市現代美術館(南畠宏・本田代志子)編集(2002)『熊本国際美術展 ATTITUDE2002—心の中のたったひとつの真実のために—』熊本市現代美術館
- (6) 大谷藤郎著(1996)『らい予防法廃止の歴史』勁草書房

絵はがきデジタルアーカイブの標準化

朝井 佐智子*¹

<概要>本研究では、絵はがきのデジタルアーカイブ化やオープンデータ化がどのような現状であるか調査し、デジタル化の進展を妨げる要因を所蔵機関、絵はがきそのものの自体の問題点を明らかにし、それを踏まえた上で、絵はがきをデジタル素材のアーカイブとして利用可能にするためにどのようなメタデータが必要であるか考察した。

<キーワード>絵はがき、デジタルアーカイブ、オープンデータ

本研究では、まず、絵はがきのデジタルアーカイブ化やオープンデータ化がどのような現状であるかは、博物館・美術館、公文書館、図書館、寺社仏閣、観光施設、大学等教育機関などを調査し、デジタル化を進展できていない現状を分析した。この現状を妨げる問題点としては、所蔵機関においては、増加する収藏品、本来業務の幅が広がったことなどによる人員不足の要因をあげた。また、絵はがき自体にも表面が年代によって、レイアウトが変化することや、裏面は、多くの情報が含まれており判定が難しいことなど、煩雑作業がデジタル化を阻害する要因であることが判明した。

そこで、誰でも容易にデジタルアーカイブ化を行うための作業として、まずは年代推定の方法を示すことによって指針とできるよう提案した。表面に関してはフローチャートにより、年代幅の限定が可能となるようにした。(表1・表2)

具体的には、「名古屋征清記念碑」(図1・図2)の絵はがきで例示する。大きさは、現代より小ぶりの約9cm×14cmであり1900年から1966年までのものである。仕切線は、3分の1のところであり、1908年から1917年までに時代設定を狭めることができる。頭書きは、「きかは便郵」とあり1933年以前である。また、使用済み絵はがきであるので、そこからの痕跡を確認してみたい。切手は1900年から1936年までの料金である1銭5厘切手であり、絵柄は、にぶ紫色の菊切手を使用しており、1899年以降と限定できる。差出人、受取人が著名人の場合、生涯や生没年を調査することにより手がかりを知ることができる。また住所の変遷も参考になることがあるが、残念ながら、宛名、差出人ともに著名人ではなく辞書に掲載はなかった。これら条件すべてが重なりあうのは1908年から1918年の10年間である。今回は、消印が42.5。

□とあり明治42年5月、すなわち1909年5月の何日かであり、クロスチェックでも確認できた。

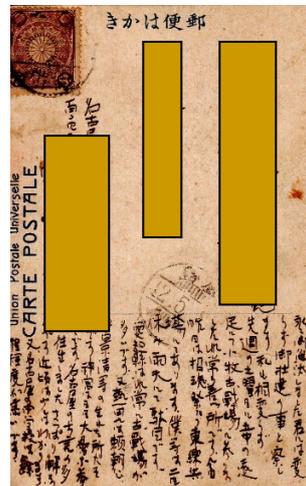
また、裏面に関しても写真、絵、写真着色など条件の選定をしやすいように例示した。さらには資料カードも作成し、「名古屋征清記念碑」(図1・図2)の絵はがきを具体例に分析方法を提示した。

しかし、人員不足という要因には、貢献できるであろうが、それ以上の効果も必要である。

図1 「名古屋征清記念碑」 絵はがき (裏面)



図2 「名古屋征清記念碑」 絵はがき (表面)



そこで、シチズンサイエンスの方法をとることにより、さらなるデジタルアーカイブ化、オープンデータ化が促進できるのではと思ひ、北摂アーカイブスと名古屋市博物館の2つの事例で検討した。また、デジタルアーカイブ化、オープンデータ化することに

*¹ASAI,Sachiko : 岐阜女子大学文化創造学研究科デジタルアーカイブ専攻

よるメリットが周知されることでより促進されると考え、学校教育、高齢者対策、地域の活性化、文化の継承、観光利用、喪失文化の継承など様々なケースでの活用方法を考察すると

ともに、オープンデータによる利便性、ジャパンサーチとの連携による知の公共財化により、さらなる利便性をはかることができることを展望した。

表 1. 絵はがき年代推定フローチャート (未使用)

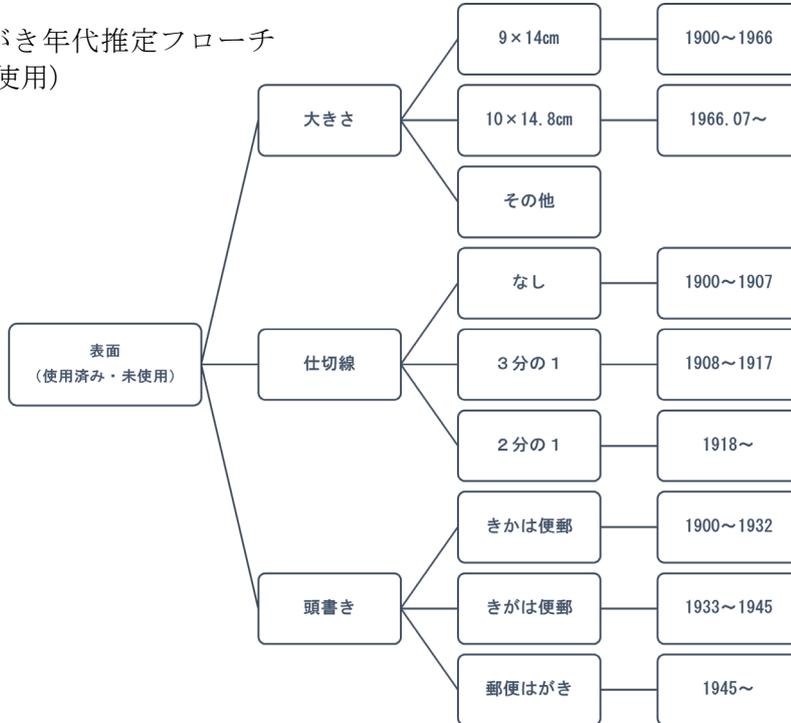
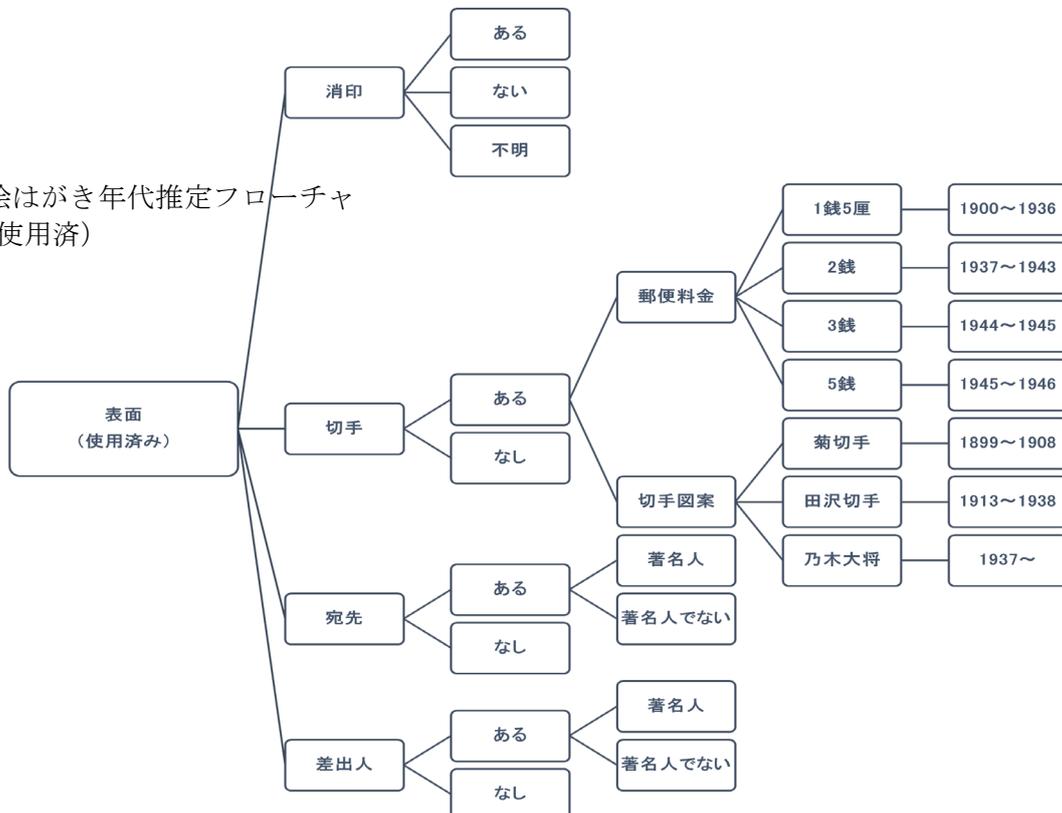


表 2. 絵はがき年代推定フローチャート (使用済)



「近世怪談アーカイブ」の構築と利活用について

森 翔大*¹

<概要>江戸時代には多くの怪談小説が出版されており、怪談に関する研究が様々に進められているものの、怪談の情報はデータベース等で体系的に整理されていない。そこでこの度、長野大学の前川道博氏にご協力いただき、怪談の情報をメタデータとして整理した「近世怪談アーカイブ」を構築した。

本発表では、このデジタルアーカイブを紹介するとともに、怪談研究に資する点や教育・学習への利用など、利活用の可能性を検討する。

<キーワード>怪談, 近世文学, 地域文化, デジタルアーカイブ, 近世怪談アーカイブ

1. はじめに

発表者は、第22回デジタルアーカイブ研究会（2024年6月23日、於オンライン）において、「怪談研究へのデジタルアーカイブの視点導入に関する検討」と題して、江戸時代の怪談をデジタルアーカイブすることの有用性について検討を行った。異なる土地が舞台でありながらテーマや展開が類似した話が作られる事例を取り上げ、舞台や年代、人物といった話の要素をメタデータとして捉えてアーカイブすることで情報が整理でき、怪談研究に役立つのではないかという可能性について言及した。また、怪談は地域の歴史や伝承なども内包しており、地域のアーカイブとしての価値がある点も指摘した。

発表時には構想のみであったが、その後、長野大学教授の前川道博氏にご協力いただき「近世怪談アーカイブ」の構築に至った。本発表では、「近世怪談アーカイブ」について紹介するとともに、実際に研究や教育にどのように活用することができるのかについて検討してみたい。

2. 「近世怪談アーカイブ」の構築

発表者自身はデジタルアーカイブのシステムを持っていないため、構想を実現するには怪談をアーカイブするためのプラットフォームが必要だった。そこで、研究者や施設のみならず一般の方々が参加できるデジタルアーカイブの在り方について研究・実践されている前川氏に本件について協力を求めた。結果、アーカイブシステムの提供を認めていただき、「近世怪談アーカイブ」を進めていくこととなった。

利用したのは、前川氏が開発した地域デジタルコモンズクラウドサービス「d-commons.net」である。前川氏は「デジタルコモンズ」を「デ

ジタルな知識・情報源の共有地」と定義し、専門家や非専門家などの垣根を越えて、「誰もが対等に知識を出し合い、蓄積し、知識を相互循環(リサイクリング)できるメディア環境とそれを使って形成されるコモンズ(共有地)である」と述べている^[1]。一般の人々がデジタルアーカイブに取り組めるようにとの考え方により開発された「d-commons.net」は、様々な個人、団体によって活用されている。

構築に当たっては、まず、前川氏にアーカイブの構想や規模、データの構造・対象といった情報を共有し、その上で発表者からメタデータの項目を提示し、構築を進めていただいた。主なメタデータ項目は表1に示す通り。

1	管理番号 (通番)
2	タイトル (章題)
3	説明文
4	カテゴリ (書名)
5	年代
6	舞台
7	人物
8	典拠
9	その他
10	巻号
11	位置情報
12	ハッシュタグ (キーワード)
13	CCライセンス
14	写真

表1 「近世怪談アーカイブ」主なメタデータ一覧

その他、年代検索用のタブや公開レベルの選択と入った機能も含まれている。

本アーカイブは書籍としてのアーカイブではなく、そこに収録されている個々の話を整理することを目的としているため、章題を「タイ

*¹Shodai,Mori : 名古屋大学大学院 人文学研究科

トル」とした。その代わりに、「カテゴリ」を書名に充てることで、その話がどの書に収録されているか分かるようにした。「管理番号」の他に「巻号」の項目もあるため、その話が書籍内の何話目に当たるかも確認できる。「説明文」には話の概要を示し、「年代」「舞台」（舞台を示す「位置情報」も付与する）「人名」など話の要素を整理出来るようにした。また、研究において重要となる「典拠」（話の元となったオリジナルの話）の項目も設けた。「その他」は、挿絵の有無や類話など必要に応じて情報を記載できる備考欄として設けている。「ハッシュタグ（キーワード）」があるため、たとえば、「狐」にまつわる話だけを検索したい場合などに活用できる。「画像」も登録できるようになっているが、ここに掲載する画像は書影ではなく、それぞれの話の挿絵を想定している。全ての話に挿絵があるわけではないが、挿絵の類似など研究における重要な要素となるため、項目を設けている。

なお、本デジタルアーカイブの名称は「近世怪談アーカイブ」とした。怪談は幽霊や化け物などが登場する怖い話、不思議な話などを指す語であるが、「学校の怪談」といった呼び方があるように、特定の時代に限定されるものではない。「怪談アーカイブ」という名称では江戸時代以降の話も含む余地があるため、本来の近世（＝江戸時代）の怪談を整理するという目的に鑑み、「近世怪談アーカイブ」の名称を採用した。

3. 「近世怪談アーカイブ」の実践

ここからは、構築した「近世怪談アーカイブ」を紹介していく。今回は試みに、発表者が研究対象としている林義端著『玉櫛笥』の情報を登録することとした。

林義端は古義堂門下の儒学者であり、文会堂という号で本屋も営んでいた人物。彼は元禄八年（1695）に『玉櫛笥』、翌九年に『玉箒子』という二作の怪異小説を執筆刊行している。その一作目となる『玉櫛笥』は、七巻七冊全31話からなり、幽霊譚や入冥譚、狐や仙人が登場する話など様々な怪談が収録されている。そして、話の舞台は日本各地に広がっており、本書の構成や傾向などを把握するためにも、アーカイブによる整理は役立つものと考えられる。

トップページでは、検索ボックスと「新着記事」、

から各話を検索できる（図1）。

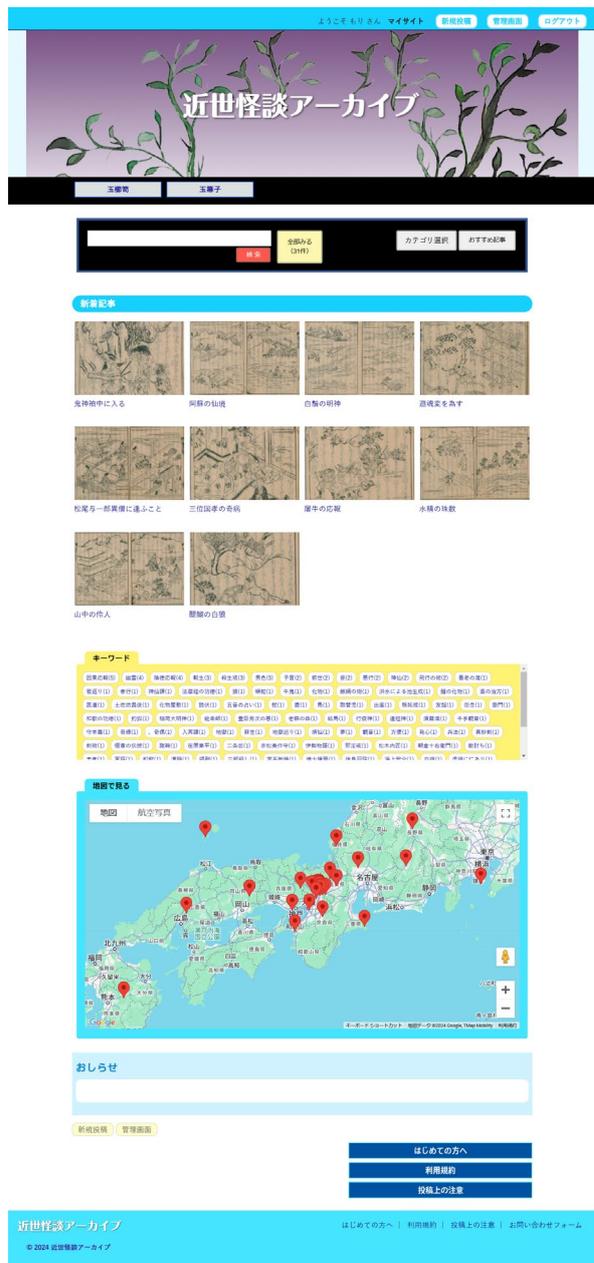


図1 トップページ

文章として読むだけでなく、挿絵や地図情報から探すという、視点を変えた怪談へのアプローチができるようになった。

なお、研究において直接利用することはあまりないかもしれないが、「お知らせ」の掲載も可能である。本アーカイブが公開あるいは共有された場合には、データの追加、更新の際に情報更新の掲出に役立てられる。

次に、詳細画面を見ていく。一例として巻一の一話目「養老の滝」を掲げる。画像とメタデータ、さらに位置情報とハッシュタグの他に同

じキーワードを持つ記事が掲載できるので、関連あるいは類似する話の検索にも有効である。



図2 詳細画面



図3 詳細画面 (画像および概略)

解説には話の概略を記載することとした。細かい分析には本文の精読が必要であるが、類似する話や関連する話の検索であれば、概要が参考になるだろう。

なお、挿絵は国立国会図書館デジタルコレクションで公開されている『玉櫛箭』を利用した。

本書はインターネット公開 (保護期間満了) のため、画像は自由に利用ができる^[2]。出典情報は「その他」に記載した。

年代	天正年中 (1573-1592)
舞台	美濃国本巢郡
人物	草野某
典拠	『本朝故事因縁集』一ノ二「美濃養老滝」、『十訓抄』六、『古今著聞集』八ノ十一「美濃国の賤夫孝養に依りて養老老を得る事」、『養老寺縁起』、謡曲「養老」
その他	挿絵出典：国立国会図書館デジタルコレクション
巻	1巻1
ハッシュタグ (キーワード)	養老の滝 若返り 孝行 神仙譚
ライセンス	表示—継承 (BY-SA)
投稿者	もり
管理番号	1
カテゴリ名	玉櫛箭

図4 詳細画面 (メタデータ)

「近世怪談アーカイブ」はエクセル等の文字だけの情報よりも、視覚的に見やすく整理されていると言える。

4. 研究への利活用

では、「近世怪談アーカイブ」はどのような利活用に期待できるだろうか。

研究において言えば、一点目はハッシュタグの設定により、キーワード検索が可能なことである。これにより、特定の書籍の中にどのような話の傾向があるのか分析する手がかりとなる。現段階では一作品しか登録していないが、今後、複数の書籍の話に登録していった場合、それぞれの作品の傾向や時代による差異など、特徴の抽出に有効活用できる可能性がある。

図5に示しているように、因果応報や陰徳応報の話が比較的多く見られることは、『玉櫛箭』が教訓啓蒙的要素を含んでいることを数値の上でも確認できる。



図5 キーワード拡大

2点目はマッピングにより話の舞台が視覚的に確認できるようになったことである。『玉櫛笥』の先行研究においては、

更に言えば、「備前国周迎」（一ノ三「闇夜の牛鬼」）、「丹波穂壺」（二ノ一「土佐坊昌俊」）、「和州戒重」（二ノ三「親子の奇遇」）など、本書には余り馴染のない土地が舞台として設定されている。かかる特異な場所を設定した理由が分れば、作者が本書に籠めた意図も更にはっきりするのだろうが、（略）^[3]

のような指摘もあり、話の舞台設定は未だ検討を要する。今回、『玉櫛笥』の舞台をマッピングしたことにより、おおよその位置と傾向も確認できた。各地に舞台は散見されるものの、義端が京都に住んでいたためか、京都が舞台の話がやや多く見られる（図6、7）。

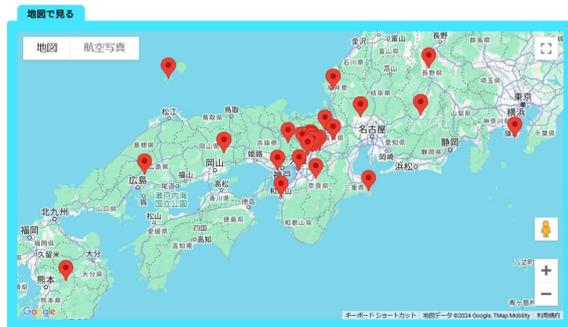


図6 「地図で見る」全体

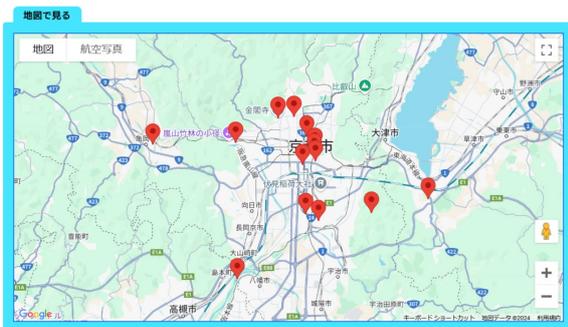


図7 「地図で見る」京都周辺

このような舞台の傾向を視覚的に把握できることも、怪談をアーカイブする利点だろう。より多くの怪談を登録することで、怪談が多く語られる場所やその話の傾向なども視覚化できる可能性がある。

5. 教育・社会学習への利活用

また、研究以外にも「近世怪談アーカイブ」は教育や社会学習に活用できるのではないだ

ろうか。

怪談は舞台となった土地と何らかの関係性を有している。本稿で一例として掲げた「養老の滝」も、古くから孝子伝説と関わりがあり、よく知られてきた名勝である。自分たちの住む町の怪談を収集しデータベース化する、あるいは怪談の舞台となっているのはどこなのか踏査する、といった地域学習にも有効活用できるだろう。

6. まとめ

ここまで、怪談の情報をメタデータとして整理した「近世怪談アーカイブ」を紹介し、その利活用について検討した。アーカイブ化したことにより、類例やカテゴリーに基づいた検索、地図上で話の舞台を把握できるといった利点を確認できた。教育の視点からは、怪談から地域の歴史や文化を学ぶきっかけとしての利用も期待できる。

しかし、検索に有効なキーワードの設定や、概略の程度、公開画像頼りになってしまう写真の扱いなど課題も多い。

今後も引き続き検証と改善を続けるとともに、怪談の登録を続け、より利活用につながる「近世怪談アーカイブ」を目指したい。

参考文献

- [1] 前川道博「地域デジタルコモンズで拓く知識循環型メディア環境:オープンプラットフォームによる地域アーカイブ化支援」(『デジタルアーカイブ学会誌』7(s2), s55-s58, 2023)
- [2] 国立国会図書館デジタルコレクション『玉櫛笥』(請求記号:857-9)
<https://dl.ndl.go.jp/pid/2607634>
- [3] 湯沢賢之助・江本裕編『玉くしげ』(古典文庫, 1990) 解説

[付記]

- ・「近世怪談アーカイブ」の構築に当たり、前川氏と「d-commons.net」をご紹介いただいた岐阜女子大学教授井上透氏ならびに構築のご協力をいただいた長野大学教授前川道博氏に深謝申し上げます。
- ・本稿は、JSPS科研費24K15969の研究成果の一部である。

出土遺物の3次元ドキュメンテーション

江添 誠^{*1}

<概要>考古学発掘調査において出土した土器片やランプ片などの遺物のデータは、従来の調査では多くの場合、手で実測を行い、平面図と断面図を作成して、写真とともに2次元のデータで発掘報告書に記載されている。しかしながら、実際の出土遺物を観察した経験のない人には報告書の遺物データから正確に実際の遺物を把握することは不可能と断言するほど困難なことである。本発表ではこのような状況を解決する方法として、出土遺物の3次元ドキュメンテーションの有用性を検討する。

<キーワード>3次元, フォトグラメトリー, 出土遺物

1. はじめに

考古学調査後に収蔵されてしまった出土遺物のほとんどは、発掘報告書における2次元の写真と図面でしかその存在を確認することができず、一般の人々はもちろんのこと、考古学の研究者ですら出土遺物を見る機会を得られない限りは、それらを立体物として確認することはできない。このような状況は、考古学の実証作業において、出土遺物を直接確認できる発掘者が圧倒的に優位である一方で、他者による学問的な再検証が極めて難しい状況を創り出している。考古学の学問的再検証性の低さが捏造などの問題を引き起こす原因となっていることはいうまでもない。発表者はこれまでの研究調査において収蔵庫に眠り、二度と日の目を見ることがないと思われる膨大な出土遺物を目にしてきた。それと同時に自分たちが直接発掘し、保存処理し、収蔵した出土遺物であっても、そのほとんどは報告書という2次元のデータでしか公開できていない現実に直面している。

2. 土器判読の問題

考古学発掘調査では遺構の層位を検出して、層位ごとに含まれる遺物から年代を判別し、遺構の時代ごとの変遷を確認する。中東地域の発掘調査において層位の年代判別に重要な役割を果たす遺物は土器である。大量に出土する土器の型式を分類し、器種や器形ごとに年代が割り当てられ、編年が作られる。発掘チームには必ず土器の専門家がおり、土器の出土状況から遺構の年代を判別する役割を担っている。発掘報告書では出土土器は断面図と平面図で表現され、寸法や色情報などが文字で記述される形で報告がなされる。作業に従事する学生や院生たちも、大学での実習や現場での経験をもとに、

図面と文字情報から土器の実際の器形を推定できるように訓練されて現場の作業に当たっている。しかしながら、土器研究の盛んなイスラエルの発掘現場においてでさえ、一つの土器片の年代や器形の判読について土器の専門家の間で意見が割れる場面を何度か目にしている。現場では実際の土器片を観察しながら、見解の相違について議論をすることは可能であるが、ひとたび報告書で図面と文字情報のみのデータになると、他者によってその判読を再検証する機会が生じることはない。また、実際の出土遺物を観察した経験のない人には報告書の遺物データから正確に実際の遺物を把握することは不可能と断言するほど困難なことである。

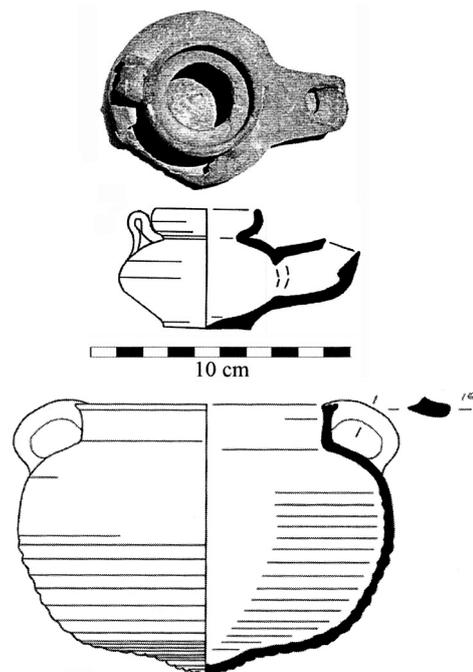


図1 伝統的な出土遺物の実測図
(Eisenberg, M. ed. (2018) Plate 5:33;14:19)

^{*1}Makoto, Ezoe : 神奈川大学 国際日本学部

3. 出土遺物の3次元ドキュメンテーション
考古学研究における出土遺物の判読に関する上記の問題は、発掘報告書が紙媒体を前提としており、もともと立体物である出土遺物のデータを2次元に落とし込んで表現していることに起因している。確かに、2010年代後半までは、3次元データの取得には非常にコストと時間を要したため、大量に出土する土器片のデータを3次元で収集することは現実的ではなかった。しかし、2010年代以降、フォトグラメトリーの技術が急速に発展し、出土遺物の測量に用いられるようになると、出土遺物の測量にも応用されるようになってきている。フォトグラメトリーはデジタルカメラと専用ソフトがありさえすれば、3次元デジタルモデルの生成が可能であるため、イニシャルコストが非常に低く、導入していない現場の方が少なくなり始めている。

また、2020年10月に発売されたiPhone12ProにLiDARスキャナが搭載されると、非常に簡単に3次元デジタルモデルの生成が可能になってきている。この4年間で精度の高い測量方法が検証されるようになり、発掘現場の測量への導入が進んできている。

さらに、携帯可能な3次元レーザースキャナの価格も汎用可能なレベルにまで落ちてきたことで、高精細な3次元データの取得が容易になってきており、もはや立体物のデータを2次元に減じることなく、3次元で取得することが当たり前な状況になりつつある。

4. 3次元ドキュメンテーションの課題

出土遺物の3次元デジタルデータを取得したとしても、最終的な報告や論文が紙媒体ならば、紙面上では単なる2次元の写真データと見た目にはあまり変わらない。

しかし、発掘報告書も紙媒体からPDFなどデジタルでの公開が徐々に始まっており、2次元での表現の制約の問題が解決されつつある。ドイツ考古学研究所が定期的に刊行している発掘報告論文集Archäologischer Anzeigerは、オンラインビューアで論文が公開されており、挿図のデータはリンクで紐付けることによって、紙面の大きさに影響されることなく表示できる仕組みになっている。従って、3次元モデルのデータをオンライン上に置いて、リンクで紐付けることによって挿図として用いることは技術的には問題がない。

3次元デジタルデータの取得方法については、進歩の余地はあるものの、技術や手順が確立されつつあるが、3次元デジタルアーカイブについては、まだ過渡期である。まず、データの保存や受け渡し、公開におけるファイル形式が定まっておらず、点群データなどの座標情報やテクスチャーの画像データなど複数のデータが組み合わさっているため、すべてのデータを保持した形でアーカイブする方法や公開のためのプラットフォームもまだ手探りな状況である。

5. おわりに

3次元ドキュメンテーションにはファイル形式やプラットフォームなどの課題はあるものの、3次元デジタルデータがあればVRやMRのデバイスを用いることによって、実物と同等の観察や分析が可能になる。考古学研究の分野では、実物を見なければ判別不能な検証を行うことができるようになり、研究の精度を高めることに寄与することができる。立体物は当たり前前に3次元で記録し、アーカイブし、公開する時代に向けて、さらに実践的な研究を推し進めていきたい。

【参考文献】

Eisenberg, M. ed. (2018) *Hippos-Sussita of the Decapolis: The First Twelve Seasons of Excavations 2000-2011 Vol. II*. Haifa: University of Haifa.



図2 出土遺物の3次元デジタルモデル
(発表者作成)

メタバース絵本の構築と効果

櫛 彩見^{*1}, 三島 里恋^{*2}

<概要>絵本は大人が読むことで感情の生起や自分自身に向き合う機会になるなど効果があると言われている。一方でデジタル技術「メタバース」は五感を使った体験であることから、高い共感や没入感が得られやすい。絵本とメタバースの共通点は多く、メタバースで絵本を表現することで絵本の効果を高めることができると考えた。メタバース絵本を作成してアンケート調査した結果、世界観やキャラクターの生命感を感じやすく絵本の効果を高めることができた。

<キーワード>メタバース, 大人向け絵本, 3DCG, Mozilla Hubs

1. はじめに

絵本は、幼児の情操教育に大きな役割を果たしており、また文字の読めない幼児の想像力と創造性を養うものとされている^[1]。また文章の読解力や生活の知識を身につける道具であること^[2]、読み聞かせを通して親子間のコミュニケーションをとる手段ともなっている^[3]。絵本は子どものためのものという認識が強いが大人が絵本を読むことも注目されており、絵本で非日常体験をすることで、感情の生起や自分自身に向き合う機会を作るといった効果が確認されている^[4]。

近年、注目されているデジタル技術に「メタバース」がある。メタバースはインターネット上に構築された仮想空間のことで、Webコンテンツとは異なる点は、自らがアバターとなって活動を行うことができることである。リアルタイムに世界中とコミュニケーションを取ることができ、より五感を使った体験であることから高い共感や没入感が得られやすい^[5]。またアバターを用いることでフラットな人間関係を有するのもメタバースならではである^[6]。

絵本とメタバースには、絵や3Dモデルを用いて相手に伝えること、コミュニケーションが生じること、非日常を体験できることといった、共通する部分が多い。そこで本研究では、絵本をメタバースで表現することで、絵本の効果を高めることができると考え、実際にメタバース絵本を作成して、その効果を明らかにすることを目的とした。

2. 研究方法

(1) メタバース絵本の構築

本研究では、メタバースの特徴を活かせるようなオリジナルストーリーを考案して、大人向け絵本を構築した。3DCGモデリングソフトウェアであるMetasequoia4を用いて3Dモデル

を作成し、Mozillaが提供する仮想空間プラットフォーム「Hubs」に設置することで、メタバース絵本を作成した。

(2) アンケート調査

メタバース絵本の効果を明らかにするため、アンケート調査を行った。調査対象は大学生（女性）とし、実際にメタバース絵本を体験した後、Googleフォームのアンケートに答えるように学内グループウェアにてメッセージを送信した。アンケート項目は、体験したデバイスの種類や操作性、効果、紙絵本との比較などとし、質問3～8は5段階評価で行った（表1）。

3. 研究結果

(1) メタバース絵本の構築

メタバース絵本は、主人公とロボと一緒に花を探しに行くというストーリーを軸に、メタバースだからこそできる絵本の表現を考案した。メタバースの空間を自由に移動することができるというメタバースの特徴を活かし、アバターが主人公となって物語を進めていく形式とした。またアバターがメタバース内を探索することで、答えを導き出すことのできる謎解きを2種類用意した。Metasequoia4を使用し、メタバース絵本に必要な3Dモデルを63個作成した。ストーリーやロボのセリフを画像にし、3DモデルとともにSpokeでメタバース空間に設置した。そしてアバターが移動することで物語が進むメタバース絵本を構築した。

(2) アンケート調査

アンケート調査は2023年6月19日から10月19日まで行った。対象者410名のうち25名から回答があり、回答率は6.1%となった。

質問5の非日常体験については、とても体験できた・まあまあ体験できたと答えたのは全体の72%となった。質問6のコミュニケーションの発生しやすさについては、とても思う・まあ

^{*1}Ayami, Ichiki : 岐阜女子大学, ^{*2}Riko, Mishima : 岐阜女子大学

表1 アンケート項目

質問1	あなたの学年を教えてください。
質問2	あなたの専攻を教えてください。
質問3	どのデバイスで体験しましたか。 スマートフォン・タブレット・パソコン
質問4	操作はいかがでしたか。
質問5	非日常的な体験を感じることはできましたか。
質問6	コミュニケーション(誰かと話す等)が起 こりやすいと思いますか。
質問7	世界観や場面、キャラクターの感情など は伝わりましたか。
質問8	メタバース絵本が他にもあったら読みたい と思いますか。
質問9	紙の絵本とメタバース絵本を比べ、当て はまる方を選んでください。 紙の絵本・メタバース絵本
	①物語の世界観を楽しむことができる
	②絵本の内容の理解のしやすさ
	③キャラクターの生命感
	④交流のしやすさ
質問10	メタバース絵本について意見や感想があ れば教えてください。(自由記述)

まあ思うが全体の40%、質問7の世界観や場面、キャラクターの感情の伝わりやすさは、とても伝わった・まあまあ伝わったが全体の56%となった。紙の絵本とメタバース絵本の比較では、①世界観を楽しむことができる、③キャラクターの生命感、④交流のしやすさについてはメタバース絵本の方が当てはまるという意見が半数以上であったが、②内容の理解のしやすさでは紙の絵本の方が適しているという意見が8割であった。

質問10の自由記述では、実際に絵本の中にある気分になった、メタバースの世界を進むことで話が進んでいくのが面白かった、謎解き要素があるので大人で読んだら楽しめたと思ったという意見があった。一方で、デバイスの種類に関係なく操作の難しさを指摘する意見が多くあった。

4. 考察

メタバースと絵本を組み合わせることで、操作方法や内容理解に課題があるものの、紙の絵本よりもメタバース絵本の方が世界観やキャラクターの生命感を感じやすいことが分かった。メタバース空間を自由に動き回ることがで

きたり、キャラクターやアイテム、背景が立体的に表現されているというメタバースの特徴によってこれらの効果が得られ、絵本をメタバースで表現することで絵本の効果を高めることができると考える。メタバースでは他アバターとの交流を図ることができることから、複数人で同時にメタバース絵本を体験することで、コミュニケーションの起こりやすさやその内容の違いなども明らかにできる。

5. まとめ

大人が絵本を読むことで、感情の生起や自分自身に向き合う機会になるなど効果があると言われている。メタバースは高い共感や没入感が得られやすいことから、メタバースで絵本を表現することで絵本の効果を高めることができると考えた。メタバース絵本を作成してアンケート調査した結果、紙の絵本よりもメタバース絵本の方が世界観やキャラクターの生命感を感じやすく、非日常的な体験といった絵本の効果を高めることができることが分かった。

メタバースはビジネスや観光、ショッピングなど広まりつつあるが、メタバースの存在をしりつつも実際に利用・体験した人は少ない^[7]。操作の難しさは没入感の妨げになることから、メタバースがより身近なものとなったとき、メタバース絵本の効果に変化があると考えられる。

参考文献

- [1]児玉「絵本とは何か:民話・昔話絵本を利用につなげよう」東海学院大学短期大学部紀要, 37, p.23-34
- [2]山本「「読解力」育成に果たす現代絵本の役割:現代絵本を使って「文学的要素」を教える試み」広島大学大学院教育学研究科国語文化教育学講座, 10, pp.71-89
- [3]此川「親子で学ぶ幼児教育の研究」日本デザイン学会第56回研究発表大会
- [4]藤森他「絵本を通して語られる内的体験:青年期に絵本を読むことで表出される語りに着目して」九州大学心理学研究:九州大学大学院人間環境学研究院紀要, 18, p.105-115
- [5]時岡「メタバースにおける自己についての臨床心理学的考察」奈良女子大学心理臨床研究, 10, pp.49-59
- [6]波多間「図解まるわかり メタバースのしくみ」翔泳社
- [7]情報通信白書, 令和5年版, 総務省

第 23 回 デジタルアーカイブ研究会

研究会論文（レジュメ）集

2024 年 11 月 23 日 発行

発行者 デジタルアーカイブ研究会 研究会実施事務局

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町 10 番地 杉山ビル 4F

岐阜女子大学 文化情報研究センター内

主催 デジタルアーカイブ研究会

日本教育情報学会デジタルアーカイブ研究会

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所

特定非営利活動法人日本デジタルアーキビスト資格認定機構